

子ろばだより 千葉北総教会J.C通信

2014.3.19 第52号

発行責任者 印西市木刈 6-20-7

日本基督教団千葉北総伝道所 牧師 大串眞



私を支えた聖書のことば

「わたしのもとに来なさい。」(マタイ 11-28)

洗礼を受けるきっかけとなり、30年もの間、私の信仰を支えてくれていることばです。

最初の出会いは、まだ洗礼を受ける前、説教で、「わたしのもととは教会のこと。教会に来ることこそ、大切なのです。」と。

このことばが私の心に響いたのです。

洗礼を受けて5年ほどたった頃、またこの言葉が登場します。説教では、「教会へ何のために行くのか？」と言うことがテーマで、その答えは、「元気で、正しく生きるために、教会へいこう。」ということでした。この説教で、漫然と説教を聞いていた私に、イエス様のことばを聞きに行くんだという、一番大切なことにあらためて気づかされたのです。

さらに5年ほどたった頃、日本語、英語両用の聖書を購入したとき、また、このことば

が私に迫ってきました。「わたしのもとに来なさい。」は、英語では、「Come to me」(カム トゥー ミー)と言います。今度はこのことば「Come to me」が頭から離れなくなったのです。この時以来、礼拝は絶対に休まないという、誓いのようなものが生まれました。

この一行にも満たない聖書のことばが、私を洗礼に導き、説教の聞き方を教え、礼拝は休まないという、私に大きな影響を与えてくれたのです。「イエス様って、聖書って、凄いな。」と、いつも思っています。

k・i



カナダの作家L・M・モンゴメリーの代表作「赤毛のアン」。

皆さんは読んだことがありますか？

アニメ(世界名作劇場)で見たことあるよ。

という子も多いかな？

孤児で赤毛でやせっぽちの女の子アン・シャーリーが11歳でカスバート家に引き取られるところから物語が始まります。

好奇心旺盛で、想像力豊かなアン。プリンスエドワード島で生涯の友と出会い、楽しい事件を次々と起こしながら、やがて素敵な女性に成長していくのです。

少女小説と思われがちですが、シェークスピア、聖書の引用も多く格調高い文面ですよ。世のお父さんにも是非一読をお勧めします。ところで、26年度春のNHKの朝ドラは「花子とアン」って知っていましたか？日本に始めてこの本を翻訳紹介した「村岡花子さん」の生涯記です。

今年「赤毛のアン」ブレイクしそうですね。

R・T

これからの行事予定です。

○4月6日(日)13:00~14:00

J.C卒業・進学・進級の祝い

○4月19日(土)14:00-15:00

イースターエッグペテンティング(キッズの会合流)

14:00-15:00

○同日 ヤングの会

15:00-19:00

ターキー(七面鳥)料理に挑戦!

&ミーティング

○4月20日(日)9:20-10:20

イースターエッグハンティング

○イースター礼拝 10:30~

イースターのお祝い

大人と合同だよ。ごちそうをいただきます。みんなで楽しもう

